

株主・投資家のみなさまへ

第42期 決算のご報告 2020.4.1 - 2021.3.31

福井コンピュータホールディングス株式会社

／ ごあいさつ ／

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第42期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業内容などをご報告するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルスが感染拡大する中、感染された方々、またお亡くなりになられた方々ならびにご家族の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また、日夜最前線で尽力されている医療関係者の皆さまに心より感謝と敬意を表しますとともに皆さまの健康と1日も早い終息を祈念いたします。

さて、当社グループの第42期の業績におきましては、売上高、利益ともに過去最高となりました。期初はコロナ禍の影響により厳しい結果となりましたが、現場を中心としたリモートでの営業、WEBセミナーの活用などを行ない、通期としては5期連続の最高更新となりました。このことは偏に皆様方の力強いご支援の賜物と深く感謝し、謹んで御礼申し上げます。

なお、利益配分につきましては、「株主の皆様への利益還元姿勢を重視し、安定的かつ継続的な配当を実施する」ことを基本方針としております。本基本方針に基づき、好業績となりましたことを勘案し、株主の皆様への

より一層の利益還元を図るため、当期の配当は前期より5円増額し、1株当たり50円といたします。

第43期、当社グループにおきましては、「商品は、お客様に使っていただけるようになって初めて販売が成立する」との考え方により、これまでIT導入補助金申請支援を進めたことにより増加した新たなお客様に使い続けていただくことに注力いたします。また、BIM/CIM分野において、「3次元データを活用して建設生産の効率化を図る」ために既に導入されているCIMのお客様にBIMを検討いただくなど、建設現場変革、働き方改革等に向けBIM/CIMを推進します。さらに、クラウド分野、スマートデバイス分野へも投資し、新型コロナウイルス感染症による先行き不透明感はあるものの、企業価値、株式価値が高まるよう取り組んでまいります。

中長期としましては、「夢を最初にデザインします」のモットーの下、中期経営計画にて目指す将来像として掲げる「建設業のなくてはならない(Mission)」、「関係する人から喜ばれる会社になる(Vision)」、「望まれるものをいち早くつくる(Value)」を具現化すべく努めてまいります。今後とも、ご支援とご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021年6月

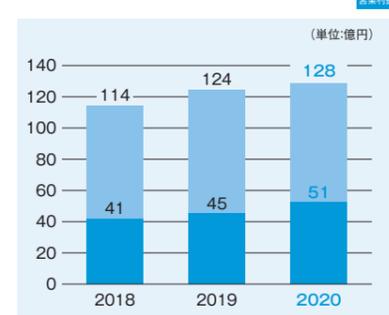
福井コンピュータホールディングス株式会社
代表取締役社長

林 治克

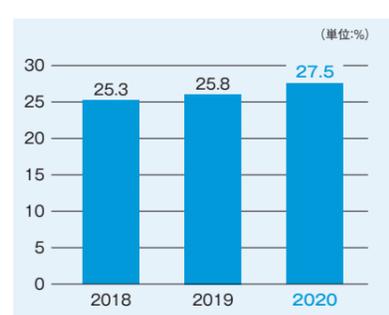
／ 財務ハイライト(連結) ／

当社グループ(当社及び連結子会社)における当連結会計年度の業績につきましては、売上高12,843百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益5,190百万円(前年同期比14.5%増)、経常利益5,236百万円(前年同期比14.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3,528百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

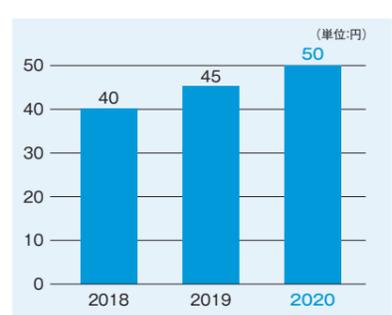
● 売上高/営業利益の推移



● 売上高当期純利益率の推移



● 配当の推移



／ 株式情報 / 2021年3月末現在

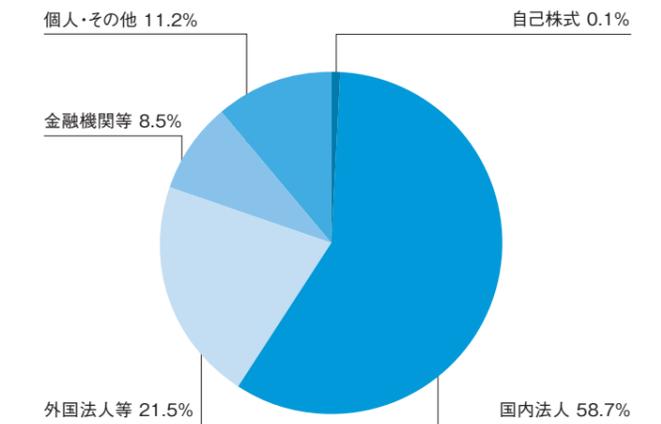
● 株式状況

発行済株式の総数 20,700,000 株
株主数 2,385 名
大株主 株式会社アセットマネジメント

株主名	持株数(千株)	持株比率※
株式会社アセットマネジメント	9,746	47.14%
株式会社LIXIL	2,300	11.12%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,018	9.76%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	668	3.23%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	347	1.68%
福井コンピュータ従業員持株会	229	1.11%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	205	0.99%
KIA FUND F149	153	0.74%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	138	0.67%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	136	0.66%

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 所有者別分布



- #### 株主メモ
- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日まで
 - 定時株主総会 毎年6月
 - 基準日 定時株主総会・期末配当: 毎年3月31日 / 中間配当: 毎年9月30日
 - 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 - 郵便物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
 - 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 - 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 - 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定しない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

／ 会社情報 /

● 会社概要

社名 福井コンピュータホールディングス株式会社
Fukui Computer Holdings, Inc.
本社 〒910-8521 福井県福井市高木中央1-2501
TEL.0776-53-9200(代)
設立 1979年12月17日
資本金 16億3,170万円
社員数 530名(グループ合計正社員)

● 役員

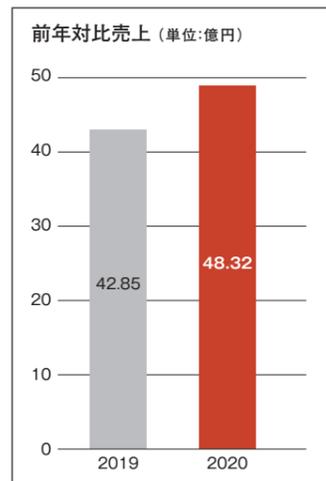
代表取締役社長 林 治克
取締役会長 堀 誠
取締役 佐藤 浩一
橋本 彰
杉田 直
堀 誠一郎
野村 明憲
取締役(監査等委員) 五十嵐 晃
高橋 勝
品谷 篤哉
神田 輝生
執行役員 長木 康弘

● 連結子会社

福井コンピュータアーキテクト株式会社
福井コンピュータ株式会社
福井コンピュータスマート株式会社
福井コンピュータシステム株式会社
● グループ拠点
福井本社/東京本部
北日本営業所(札幌/盛岡/仙台)
北関東営業所(新潟/長野/高崎/宇都宮/水戸/さいたま)
関東営業所(東京/川崎/千葉)
中部営業所(静岡/名古屋/岐阜/福井)
関西営業所(京都/大阪/神戸)
中四国営業所(岡山/広島/山口/高松/松山)
九州営業所(福岡/熊本/別府/宮崎/鹿児島/那覇)

セグメント別概況

住宅事業

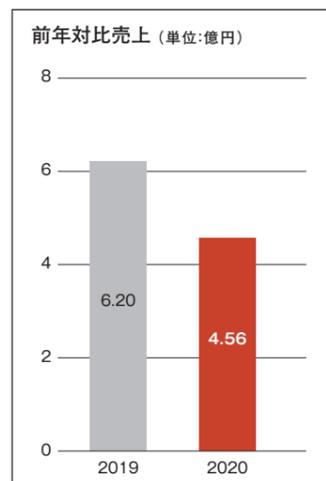


2020 売上高 48億32百万円 (前年同期比 113%)

新しい働き方や法改正への対応を強化

テレワークに代表される働き方への対応やクライアントへの提案力強化の対応として「ARCHITREND ZERO」を2020年6月にバージョンアップしました。加えて、2021年4月より施行の「改正建築物省エネ法」への対応として、2021年2月に機能拡張を行うなど、時代の変化に追随する機能拡張を行い、住宅業界の働き方を支援するよう取り組んでおります。

建材事業

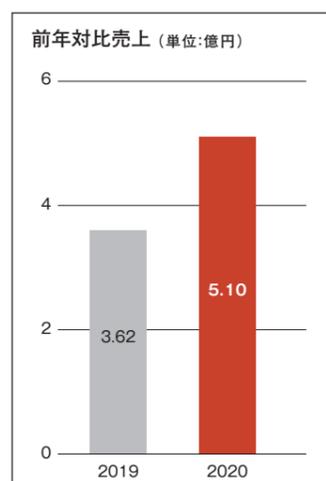


2020 売上高 4億56百万円 (前年同期比 74%)

契約数は堅調に推移

当事業におきましては、2020年度に受託開発が1.7億円減少したことで前期比減収となりましたが、主要サービスである「3Dカタログ.com」は7,300社、14,500契約(期首比1,300社、2,500契約増加)と順調に契約数を伸ばしております。今後、3次元データ活用の重要性が高まる事も予測される中、「3Dカタログ.com」につきましても3次元データの利活用を強化し、事業の継続的な成長を実現して参ります。

BIM事業

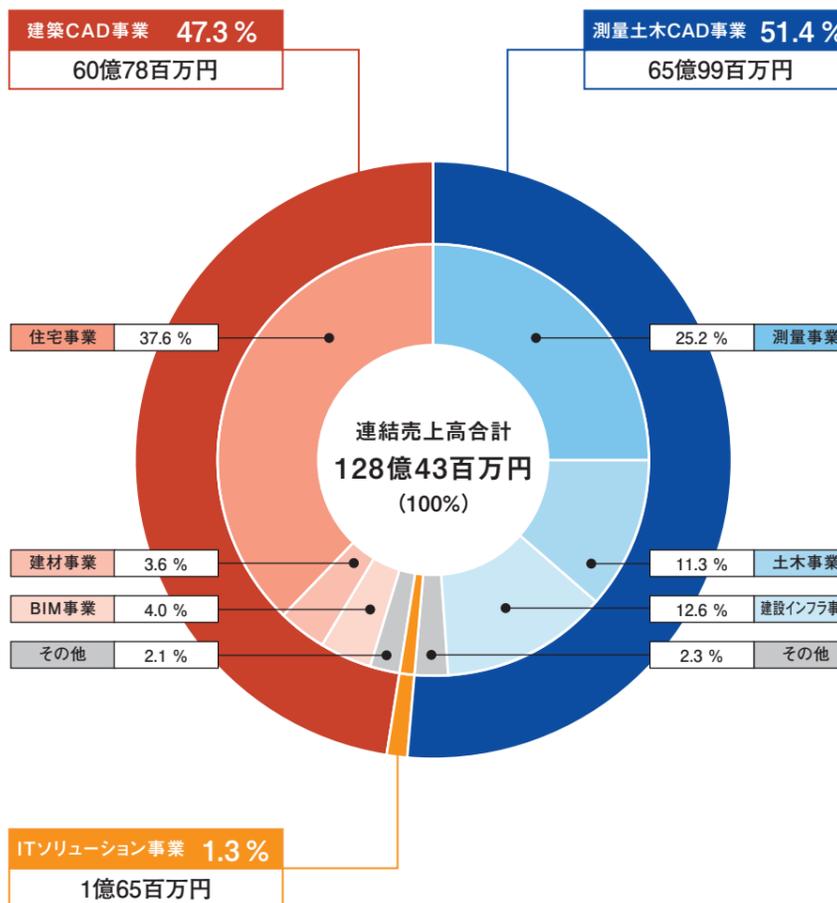


2020 売上高 5億10百万円 (前年同期比 141%)

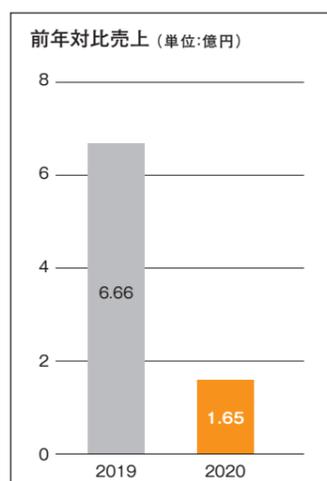
BIM/CIMにおける設計、施工、維持管理の連携強化

国土交通省が掲げるBIM/CIMの普及拡大を受け、建設現場の「生産性向上」、「働き方改革」の実現に向けた設計と施工管理における連携性強化として「GLOBE Construction」を2020年11月に発売しました。今後も設計、施工、維持管理段階における3次元データを利活用するための環境整備に取り組んで参ります。

売上高構成比



ITソリューション事業

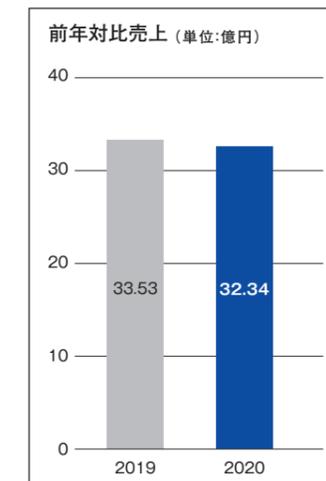


2020 売上高 1億65百万円 (前年同期比 25%)

ワン・クリック・カウンタに続く事業の柱を育成

当事業におきましては、2019年度は、2019年4月の統一地方選、並びに2019年7月の参議院選の出口調査システムとして「ワン・クリック・カウンタ」における大口の売上を計上しておりましたが、2020年度は大型選挙がなく大幅な減収となりました。一方、ワン・クリック・カウンタに続く事業の柱の育成として、揚重管理・資機材搬入システム「DandALL」の拡販に取り組み、事業の安定的な成長に向け取り組んでおります。

測量事業

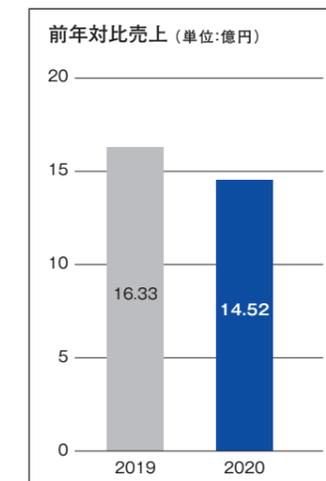


2020 売上高 32億34百万円 (前年同期比 96%)

新ブランドとしてサブスクリプション製品を発売

当事業におきましては、2019年度のWindows7サポート終了に伴う買替需要が一服したことで、主要製品「TREND-ONE」の売上が前期比減収となりました。一方、3次元計測が主流になる中、UAV搭載型レーザースキャナーを用いた成果物の対応支援や、改定された「公共測量作業規程」への準則として「TREND-ONE」を2020年5月にバージョンアップし、2020年9月には新たなブランドとして土地家屋調査士向けに「TREND REX」をサブスクリプション形式で発売するなど、市場のニーズに則した商品展開に取り組んでおります。

土木事業

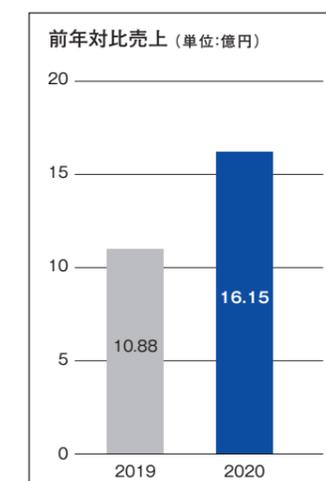


2020 売上高 14億52百万円 (前年同期比 89%)

中小建設業を対象としたi-Construction時流の対応

当事業におきましては、「TREND-CORE」を建設インフラ事業へ移管したことで減収となりました。一方、主要製品である「EX-TREND武蔵」は、国土交通省が推進する建設現場の生産性向上の取組「i-Construction」において、2020年度より中小の建設業を対象とした「簡易型ICT活用工事」の活用促進が図られていることを踏まえ、3次元データを活用した出来形管理や納品における支援として2021年3月にバージョンアップし、業績は底堅く推移しております。今後も地域を基盤とする建設業の支援を継続して参ります。

建設インフラ事業



2020 売上高 16億15百万円 (前年同期比 148%)

i-Construction、インフラ分野のDX対応を強化

国土交通省が推進する「i-Construction」関連要領への対応やインフラ分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)への対応を軸に、2020年4月に「CIMPHONY Plus」、9月に「TREND-POINT」、12月に「TREND-CORE」、「TREND-CORE VR」をバージョンアップしました。今後も生産性向上に資するよう、移動時間削減、非接触型の業務転換を支援して参ります。